

ふくあや香 (イチゴ)

＝福島県農業総合センター＝

「ふくあや香」の特徴

- 草姿は立性で草勢が強い。厳寒期の草勢の低下が少ない。
- 糖度は高く、酸度がやや高く、食味が良好である。
- 果皮の色は鮮紅色、果形は円錐、果肉色は橙赤、果実の光沢は良い。
- 花房当たりの花数は「女峰」よりも少ないが、着果した果実が無駄なく肥大し、収穫調製作業の省力化になる。
- 収穫開始の時期 促成栽培(9月中旬定植)で1月中旬、「女峰」より約30日遅い。
半促成栽培(10月上旬定植)で2月上旬、「麗紅」より約5日早い。
- 県内の適応作型 促成栽培 及び 半促成栽培



- 「ふくあや香」という名前には、「ふくしまオリジナルの酸甘あやなす香味を消費者に届け、幸福感とともに味わいたい」という意味を込めています。

育成の経過

この品種は、「いちご福島2号」(※1)を母に、「いちご福島1号」(※2)を父として、平成8年に交配、以後選抜を重ね、平成14年に育種目標とする特性を確認して育成を完了しました。

※1 (母)「大鈴×アイベリー」の選抜系 × (父)「Chandler」

※2 「章姫×さちのか」の選抜系

<育成経過>

平成 8年 交配
(母)「いちご福島2号」×(父)「いちご福島1号」

平成 9年 以後選抜を重ねる。

平成14年 育種目標とする特性を確認して育成

